
第 4 編
ガ ス 事 業

(注) 本市は、ガス小売事業を平成 31 年 3 月 31 日をもってびわ湖ブルーエナジー(株)に承継したため、現在は一般ガス導管事業者である。

I 事業概要

1. 沿革

明治 43年 12月	大津瓦斯株式会社創立 石炭を原料にガスを製造、供給区域は旧大津市全域
大正 7年 10月	第一次世界大戦に伴う原料炭等の暴騰のため経営が困難となり、大津瓦斯株式会社解散
空白期	大正7年10月～昭和9年2月までの約17年間は、ガス事業を営む者はなく、市民は大きな不便を忍んでいた
昭和 9年 2月	近江瓦斯株式会社創立
10年 11月	大津市長堀田義次郎と近江瓦斯株式会社社長兼松寅太郎氏との間に事業引継ぎの仮契約成立
12年 1月	商工大臣からガス事業譲受の許可取得
3月	ガス供給を開始 供給区域は旧大津市及び旧膳所町一円で、供給戸数は1,426戸
20年～22年	昭和20年4月末には第二次世界大戦の影響で大阪瓦斯株式会社からのガス輸送量が激減し、需要家へのガス供給も停止せざるを得なくなった
22年 1月	昭和22年1月26日、一般需要家へのガス供給再開 以後、経済復興とあいまって家庭用燃料、工業用燃料としてガス需要は著しく増加
28年	第一次五か年計画作成
9月	公営企業部設置
30年 5月	石場供給所、水封有柱式二槽型ホルダー(2,000m ³)完成
12月	栗津供給所、水封有柱式一槽型ホルダー(1,000m ³)完成
33年	第二次五か年計画作成
9月	供給区域拡張(錦織、石山)
36年 9月	園山供給所、水封有柱式一槽型ホルダー(1,000m ³)完成
37年 8月	石場供給所、球型ガスタンク(幾何容積3,000m ³ 、圧力4kg/cm ² 、容量12,000m ³)完成
38年	第三次五か年計画作成
39年 10月	カロリーアップ実施(3,600kcal/m ³ から4,500kcal/m ³)
40年 6月	穴太団地において本市で初めてLPG供給開始
9月	供給区域拡張(滋賀里～藤尾の一部)
41年 7月	供給区域拡張(木の岡)
11月	供給区域拡張(石山平津町)
42年 1月	管理者制度実施
5月	ガスサービスセンター開設
8月	供給区域拡張(瀬田)
43年	第四次五か年計画作成
45年 7月	兼業許可取得(液化石油ガス販売事業)

- 供給区域拡張(南郷町の一部)
- 12月 兼業許可取得(簡易ガス事業、木の岡・大谷・下阪本団地)
- 47年 6月 兼業許可取得(簡易ガス事業、堅田衣川台団地)
- 11月 瀬田川共同橋完成
- 48年 4月 公営企業部から企業局へ改称
- 8月 供給区域拡張(坂本の一部)
- 49年 7月 真野供給所(ブタンエアーガス製造設備)完成
- 8月 兼業許可取得(簡易ガス事業、臨湖団地)
- 50年 1月 兼業許可取得(簡易ガス事業、湖南台団地)
- 9月 真野供給所、ブタンエアーガス供給開始
- 12月 供給区域拡張(南大萱、月輪)
- 51年 9月 供給区域拡張(日吉台ニュータウン、比叡辻団地)
- 52年 1月 兼業許可取得(簡易ガス事業、下龍華改良住宅)
- 11月 兼業許可取得(簡易ガス事業、黒津団地)
- 53年 2月 供給区域変更(藤尾の一部)
- 5月 藤尾事故発生
- 10月 全整圧器改修
- 54年 2月 供給区域拡張(下阪本、比叡辻の一部)
- 6月 天然ガス転換完了(4,500kcal/m³から11,000kcal/m³)
- 8月 湖南幹線パイプライン準備に着手
- 10月 保安強化のため機構改革実施
既設低圧全導管改修工事に着手
- 55年 4月 石場供給所、水封有柱式一槽型ホルダー(1,000m³)廃止
- 7月 兼業許可取得(都市ガス警報器及びその関連機器販売事業)
(ガス器具以外のガス関連器具の販売事業)
- 8月 兼業許可取得(受託ガス輸送事業)
- 11月 大津湖南幹線パイプライン完成
受託ガス輸送事業開始
- 56年 6月 ガスサービスセンターのガス器具販売業務を大津市ガス設備協同組合へ
移管
- 9月 園山供給所、水封有柱式一槽型ホルダー(1,000m³)廃止
- 12月 中圧北部幹線パイプライン工事着手(木の岡～真野)
- 57年 3月 中圧パイプライン防食施設設置工事完成
- 58年 3月 真野営業所、中圧ガス圧送設備(620m³/時)設置
- 11月 兼業許可取得(簡易ガス事業、桜谷団地)
- 59年 3月 供給区域拡張(若葉台、真野町、今堅田三丁目の一部)
- 7月 大津湖南幹線パイプラインの圧力変更
(1.5kg/cm²から3.0kg/cm²に昇圧)
- 60年 3月 大津湖南幹線パイプラインから分岐の草津幹線(近江大橋ルート)完成
- 7月 需要家保安対策(安全アダプター取付)に着手

- 10月 石場供給所、球型ガスタンク(3,000m³)廃止
 石場供給所、水封有柱式二槽型ホルダー(2,000m³)廃止
 粟津供給所、水封有柱式一槽型ホルダー(1,000m³)廃止
- 61年 2月 供給区域拡張(下阪本、比叡辻、仰木、衣川、雄琴の一部)
 7月 独居老人宅、ガス漏れ警報器取付
 8月 ガス灯設置(島の関～打出浜の湖岸沿920mに20基)
- 62年 3月 ガス事業50周年記念式典
 需要家保安対策(安全アダプター取付)を完了
 企業局研修センター竣工
- 63年 5月 ガス灯設置(中央三丁目地先ガスサービスセンター中央店別館前に1基)
 7月 マイコンメーターの取付に着手
 8月 中庄北部幹線パイプライン完成
 供給区域拡張(堅田、雄琴、瀬田、上田上の一部)
- 平成 元年 5月 ブタンエアーガス供給地域天然ガス転換完了
 (7,000kcal/m³から11,000kcal/m³)
 6月 需要家サービス強化のため機構改革実施
 (ガス保全課ガス保安指令室北分室及び東分室設置)
 7月 真野営業所製造設備廃止
 9月 ガス保安指令室東分室竣工
- 2年 3月 供給区域拡張(雄琴、田上の一部)
 4月 ガス灯設置(大江四丁目地先ガスサービスセンター瀬田店に1基)
 8月 供給区域拡張(堅田、雄琴の一部)
- 3年 3月 中庄北部幹線二系統化完成
 中庄東南部パイプライン二系統化完成
 ガス灯設置(堅田二丁目地先に8基)
 4月 供給区域拡張(堅田、下阪本、田上の一部)
- 3年 4月 L P G供給地点群天然ガス転換完了(14地点群のうち9地点群)
 7月 供給区域拡張(堅田、雄琴の一部)
- 4年 8月 大津湖南幹線パイプラインの圧力変更(3.0kg/cm²から6.9kg/cm²に昇圧)
- 5年 6月 株式会社大津ガスサービスセンター設立
 8月 ガス灯設置(園城寺町地先に7基)
- 6年 7月 機構改革により安全サービス課設置
- 7年 1月 阪神大震災に伴い企業局から救援隊を派遣
 6月 供給区域拡張(大谷町、膳所の一部、石居一・三丁目、上田上大鳥居)
 11月 大津北部幹線パイプラインの圧力変更(1.5kg/cm²から6.9kg/cm²に昇圧)
 12月 供給区域拡張(堅田一丁目、衣川一丁目の一部、衣川三丁目)
- 8年 1月 大津北部幹線による受託ガス輸送(琵琶湖大橋ルート)開始
 3月 庁舎駐車場に昇圧供給装置を設置(1基)
 11月 料金改定(複数2部料金制へ変更、原料費調整制度導入)
 業務用マイコンメーターの取付に着手

- 9年 3月 真野供給所、水封有柱式二槽型ホルダー(5,000m³)廃止
 11月 大津藤尾幹線パイプラインの圧力変更(1.5kg/cm²から6.9kg/cm²に昇圧)
- 10年 3月 浜大津公共広場(愛称 ガス燈広場)にガス灯及びモニュメントを設置
 4月 供給区域拡張(真野大野一・二丁目、真野家田町、真野谷口町)
 10月 供給区域拡張(大谷町の一部)
 L P G供給地点群天然ガス転換完了(大谷団地)
- 11年 8月 環境美化センターに昇圧供給装置を設置(1基、累計2基)
 9月 供給区域拡張(仰木七丁目の一部、神領四丁目)
 計量単位を国際単位系(SI)に統一
- 12年 2月 庁舎駐車場に昇圧供給装置を設置(1基、累計3基)
 6月 修繕専門会社「(株)パイプラインサービスおおつ」設立
 庁舎駐車場に昇圧供給装置を設置(2基、累計5基)
- 13年 11月 家庭用空調契約料金と床暖房契約料金を新設 小型空調契約料金を引き
 下げ
- 14年 3月 ガスコージェネレーション設備設置(真野四丁目、真野浄水場へ電力供
 給及び北部学校給食共同調理場へ蒸気・温水を供給)
 輸送向け圧縮天然ガス用A・B契約料金を新設
- 15年 2月 都市ガス標準熱量変更(46.04655MJ/m³から45MJ/m³)
 料金改定(実質平均改定率：小口部門全体△6.61%、供給約款料金△5.32%)
 8月 家庭用ガスコージェネレーションシステム契約料金の新設
 9月 受託輸送廃止
 10月 天然ガス自動車モニター事業開始(1800cc 2台、660cc 1台)
 供給区域拡張
 {大石曾東一～五丁目、大石小田原一・二丁目、大石龍門一～六丁目
 大石淀一～三丁目、大石中一～七丁目、大石東一～七丁目}
- 16年 4月 託送供給約款の新設
 6月 供給区域拡張(伊香立下龍華町(一部除く)、羽栗一丁目)
 7月 簡易ガス事業廃止
 9月 L P G供給地点群天然ガス転換完了
 (桜谷団地、下龍華改良住宅、羽栗団地)
 10月
- 17年 3月 ガバナ遠隔監視制御システム設置
- 18年 4月 明日都浜大津にガスショールーム「キットココ」開設
- 19年 3月 ガス灯設置(JR石山駅北口広場に7灯式1基)
 8月 料金改定(改定率：小口部門全体△7.75%、供給約款料金△6.82%)
 都市ガス料金と液化石油ガス料金を消費税の総額表示・税込計算方式に
 改定
 業務用季節別A・B契約料金を新設
- 20年 8月 供給区域拡張

		<p>伊香立向在地町の一部、伊香立下在地町の一部、 大津湖南都市計画事業伊香立緑の里土地区画整理事業地内、 枝四丁目、里一～四丁目、里五丁目の一部、里六丁目の一部、 関津一～五丁目、関津六丁目の一部、稲津四丁目、 黒津五丁目、太子一～二丁目</p>
21年	9月	原料費調整制度の改正(3・3・3制度から3・2・1制度に変更)
	11月	供給区域拡張(南郷上山町、石山南郷町)
22年	6月	供給区域拡張
		<p>伊香立下龍華町140番地の2、141番地及び320番地、 仰木二丁目(一級河川天神川以南かつ奥比叡ドライブウェイ 以東かつ普通河川雄琴川以北に限る。)、仰木三丁目、 仰木四丁目(一級河川天神川以南に限る。)、仰木五丁目 (一級河川天神川以南に限る。)、仰木六丁目、仰木七丁目 (一級河川天神川以南かつ市道北3009号線以西に限る。)</p>
24年	1月	供給区域拡張
		<p>和邇中浜、和邇高城の一部、和邇中、和邇南浜、和邇今宿、 小野(字知原の一部を除く。)、伊香立向在地町、 伊香立生津町、伊香立上在地町、伊香立北在地町、 伊香立下在地町、 伊香立南庄町(県道伊香立浜大津線以東に限る。)、 伊香立上龍華町、真野佐川町、羽栗二～三丁目、森一～三丁目、 枝一～三丁目、石居二丁目、桐生一～三丁目、牧一～二丁目、 平野一～三丁目、中野一～三丁目、芝原一～二丁目、 堂一～二丁目、新免一～二丁目</p>
24年	10月	供給区域拡張(黒津三丁目の一部)
25年	6月	料金改定(改定率:小口部門全体△3.96%、供給約款料金△3.94%)
26年	4月	料金改定(消費税率の変更)
28年	3月	ガスショールーム「キットココ」閉館
28年	6月	料金改定(石油石炭税率の変更)
28年	12月	託送供給約款 認可
29年	3月	最終保障供給約款 届出 大津市ガス事業中長期経営計画(経営戦略)策定
30年	12月	大津市ガス特定運営事業等(本市ガス小売事業を中心とする事業)について びわ湖ブルーエナジー株式会社にPFI法に基づく公共施設等運営権を設定
31年	3月	大津市ガス事業中長期経営計画(経営戦略)改訂
	4月	びわ湖ブルーエナジー株式会社による事業開始
令和	元年	10月 料金改定(消費税率の変更)
	11月	託送供給約款 改定(託送供給事務標準化に伴う変更など)
	3年	1月 供給区域拡張(上田上中野町の一部)
		2月 託送供給約款変更 届出
		3月 大津市ガス事業中長期経営計画(経営戦略)改訂

2. 事業の推移

区 分	単位	平成29年度		平成30年度	
			対前年比 (%)		対前年比 (%)
行政区域内人口	人	342,088	100.0	342,695	100.2
供給区域内件数 (A)	件	138,407	101.0	140,202	101.3
供給件数 (B)	件	97,185	100.8	98,477	101.3
普及率 (B / A)	%	70.2	—	70.2	—
年間受入量 (★)	m ³	164,457,611	—	157,959,808	96.0
年間購入量	m ³	162,376,900	98.5	136,832,317	84.3
1日平均受入量 (★)	m ³	450,569	—	432,767	96.0
1日平均購入量	m ³	444,868	98.5	374,883	84.3
年間払出量 (★)	m ³	170,124,138	—	162,580,463	95.6
年間販売量	m ³	168,147,761	99.4	141,438,898	84.1
1日平均払出量 (★)	m ³	466,094	—	445,426	95.6
1日平均販売量	m ³	460,679	99.4	387,504	84.1
導管 (本支管) 総延長	m	1,286,459	100.6	1,298,775	101.0
ガス事業売上高	千円	12,043,523	109.3	11,592,954	96.3
総 収 益	千円	12,595,715	109.9	21,204,340	168.3
総 費 用	千円	11,762,730	107.3	11,663,489	99.2
純 利 益	千円	832,985	166.1	9,540,851	著増
職員数 (年度末)	人	103	103.0	98	95.1

※平成30年度までの購入量及び販売量は45MJ/m³に換算している。

※令和元年度より一般ガス導管事業者への事業類型変更に伴い、改正後の会計規程に基づき記載している。

(★)平成29年度、平成30年度は一般ガス導管事業者に係る区分の数値を併記している。

令和元年度より上段に一般ガス導管事業者に係る区分の数値、下段にLPGに係る区分の数値を記載している。

令和元年度 (閏年)	対前年比 (%)	令和2年度		令和3年度	
			対前年比 (%)		対前年比 (%)
343,550	100.2	343,835	100.1	343,817	100.0
142,362	101.5	144,027	101.2	145,888	101.3
99,829	101.4	100,555	100.7	101,435	100.9
70.1	—	69.8	—	69.5	—
139,836,767	88.5	127,093,058	90.9	135,521,631	106.6
2,381	著減	2,710	113.8	2,603	96.1
382,068	88.3	348,200	91.1	371,292	106.6
7	著減	7	100.0	7	100.0
145,475,255	89.5	131,987,539	90.7	140,098,792	106.1
2,272	著減	2,666	117.3	2,649	99.4
397,473	89.2	361,610	91.0	383,832	106.1
6	著減	7	116.6	7	100.0
1,307,610	100.7	1,316,214	100.7	1,321,876	100.4
3,205,211	著減	3,437,335	107.2	3,505,659	102.0
4,315,555	著減	4,113,624	95.3	4,183,871	101.7
3,739,143	著減	3,620,277	96.8	3,562,356	98.4
576,412	著減	493,347	85.6	621,516	126.0
62	63.3	63	101.6	59	93.7

Ⅱ 施 設 概 要

1. 中圧導管

市内の中圧A導管は、大津藤尾幹線から大津湖南幹線として大津市南東部へ、藤尾地域から三井寺町を經由して草津市（南草津、新浜）まで口径 600～300mm の導管を布設している。

また、大津市北部へは、大津藤尾幹線を三井寺町から分岐して、大津北部幹線として和邇地域まで、口径 600、400 及び 150mm の導管を布設している。

なお、中圧A導管は、大阪ガスネットワーク(株)と連結している。

中圧B導管は、市内各所の中圧Aガバナ（整圧器）から口径 300、200 及び 150mm の導管を布設し、北部は和邇地域まで、南部は南郷地域まで、東部は瀬田地域から田上地域まで、中圧B導管網を構築し、市内各所に低圧ガスを供給するための中圧Bガバナ（整圧器）を設置して、安全で安定的な供給に努めている。

また、大石地域には、大阪ガスネットワーク(株)近畿幹線京滋ライン大石ガバナステーション（大石曾束二丁目）から口径 300、200 及び 150mm の導管を布設している。

2. 整圧器

(1)中圧A整圧器（11か所）

No.	名 称	設 置 場 所	型 式	口 径	能 力	数 量
1	晴 嵐 A	晴嵐一丁目	A S F	200mm	56,000 m ³ /時	2
2	御 陵 A	御 陵 町		150mm	37,400 m ³ /時	2
3	一 里 山 A	一里山六丁目		100mm	18,100 m ³ /時	2
4	藤 尾 A	茶 戸 町		80mm	11,900 m ³ /時	2
5	文化ゾーンA	瀬田南大萱町				2
6	穴 太 A	唐崎三丁目				2
7	真 野 A	真野四丁目	A F V	100mm	19,000 m ³ /時	2
8	雄 琴 A	雄琴二丁目				2
9	粟 津 A	粟 津 町				2
10	わ に A	和邇今宿				2
11	浜 町 A	浜 町				80mm

(2) 地区整圧器 (59か所)

No.	名 称	設 置 場 所	型 式	口 径	能 力	数 量	
1	わ	和 山	適 今				
2	伊香立公園	百 合	の				
3	水	明	二 丁				
4	美	美	空				
5	緑	緑	二 丁				
6	北 消 防 署	真 野	二 丁				
7	ラ ヴェスト	本 堅	田 四 丁				
8	堅	堅	田 二 丁				
9	仰 木 の	仰 木	の 里 四 丁				
10	成 安 造 形 大	仰 木	の 里 東 四 丁				
11	成 雄	仰 雄	琴 二 丁				
12	苗	苗 鹿	一 丁				
13	日 吉	日 吉	台 二 丁				
14	穴	唐 崎	川 三 丁				
15	際	際 川	二 丁				
16	神 宮	神 野	町 二 丁				
17	桜	桜 野	町 二 丁				
18	御	御 陵	戸				
19	藤	茶	〃				
20	茶						
21	浜	浜					
22	逢	逢 坂	一 丁				
23	石	石					
24	に お の	に お の	浜 二 丁				
25	由 美	に お の	浜 四 丁				
26	馬	馬 本	丸 二 丁	K A	100mm	10,000m ³ /時	
27	膳	湖 城	が				
28	湖 美	湖 美	崎 殿				
29	美 御	美 御	崎 殿				
30	殿						
31	晴	晴 嵐	一 丁				
32	唐	唐 橋	一 丁				
33	園	園 山	三 丁				
34	螢	螢 谷					
35	大 南	大 南	平 二 丁				
36	大 南	大 南	一 丁				
37	大 一	大 一	三 丁				
38	里 野	里 野	山 二 丁				
39	玉 橋	玉 橋	野 二 丁				
40	黒 松	黒 松	津 五 丁				
41	文 化	文 化	陽 三 丁				
42	医 科	医 科	田 南 大 萱				
43	松 青	松 青	田 南 大 萱				
44	森 里	森 里	が 丘 六 丁				
45	桜 大	桜 大	が 丘 一 丁				
46	石 中	石 中	二 丁				
47			四 丁				
48			東 五 丁				
49			中 二 丁				
50							
51	大 津 M A R Y	皇 子	が 丘 三 丁	〃	50mm	2,190m ³ /時	2
52	勸 雄	勸 雄	学 二 丁	A F V	50mm	5,580m ³ /時	2
53	琴 本	琴 本	六 丁	〃	80mm	11,220m ³ /時	2
54	下 野	下 野	本 四 丁	〃	〃	〃	2
55	萱 野	萱 野	輪 一 丁	〃	〃	〃	2
56	月 二	月 二	輪 一 丁	〃	〃	〃	2
57	本 松	本 松	本 一 丁	〃	〃	〃	2
58	曾 小	大 石	曾 東 三 丁	1800M	50mm	330m ³ /時	2
59	田 原	大 石	小 田 原 二 丁	〃	〃	〃	2

3. 本支管口径別布設延長 (令和4年3月31日現在)

(単位：m)

区 分 (mm)		鋼 管	鑄 鉄 管	P E 管	計
中 庄 本 管	600	16,091			16,091
	500	2,543			2,543
	400	20,345			20,345
	300	61,764			61,764
	250	4,700			4,700
	200	21,573			21,573
	150	30,515	170		30,685
	100	4,349			4,349
	計	161,880	170	0	162,050
低 庄 本 管	600				0
	400				0
	300	4,153	82,031		86,184
	250	56	46		102
	200	3,367	100,048	50,357	153,772
	150	2,576	98,966	50,559	152,101
	100	4,727	137,110	92,908	234,745
	計	14,879	418,201	193,824	626,904
低 庄 支 管	80	56,636			56,636
	75			113,553	113,553
	50	150,307		208,171	358,478
	40	2,849			2,849
	32	1,329			1,329
	30			77	77
	計	211,121	0	321,801	532,922
合 計		387,880	418,371	515,625	1,321,876